

令和6年度第2回利用者懇談会開催結果概要

- 1 日 時 令和7年3月13日（木） 13：30～15：00
- 2 会 場 埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）
- 3 出席委員 田村副委員長、青柳委員、新井委員、佐藤委員、根岸委員、
古堂委員、渡部委員（古堂委員、根岸委員はオンライン参加）
事務局 新井所長、木村副課長、薄井事業コーディネータ、
渡辺事業担当部長、磯田相談担当部長、川端事業担当課長
- 4 あいさつ 埼玉県男女共同参画推進センター 新井所長
- 5 議 事
 - （1）令和6年度事業の実施状況について 資料に基づき新井所長が説明
 - （2）令和7年度事業計画（案）について 資料に基づき新井所長が説明
 - （3）意見交換

【質疑・意見】

委員：毎年様々な時流にあったテーマでの講演や講師でありがたい。毎年、埼玉大学等の学生とイベント等で連携しており、大変良いことと思う。若い人への働きかけに注力とのことだが、やはり同世代からの発信が有効なので今後も続けていただきたい。

委員：今年のフェスティバルではサポートスタッフの有志で、手作りのシナリオで朗読劇をした。皆と考え、話をすることで、意見を深めることができよかった。サポートスタッフの定例会はあるが、その後新しく入った方となかなか連絡が取れない。その年度にどのような方が入ったか早く知ることができるとうい。

事務局：新たにご登録いただいた方の情報については、個人情報関係で提供は難しい。サポートスタッフ会議や、講演会等の運営補助で顔を合わせるときなどに適宜紹介させていただいているので、御理解いただきたい。

委員：センターに全然足を運ばず申し訳ない。送付されたチラシを見て情報を得ている。先日、大田区の男女共同参画センターの事業の話を聞いた。センターの主催事業はあまり知られていないが、外部の企画と一緒に実施したところ参加者が倍増したとのこと。With You さいたまも他団体と一緒に事業を実施したら、SNSでもっと拡散され、知られていくのではないかな。

事務局：当センターでも、申請をいただければ共催という形をとることはできる。ただ、県の主催事業にもなるため審査基準があり、何でも許可というわけにはいかないことは御理解いただきたい。

委員：男女共同参画週間講演会と男性によるトークセッションに参加させていただいた。アルテイシアさんや斉藤さんなど、知らなかった人を知ることができ、来年度も楽しみである。今年度はジェンダー主流化に力を入れているということだが、関心がない人に「なるほど」と言わせるところまで学びたい。あばた一相談も関心があるが、相談者以外が見ることはできるのか。

事務局：あばた一相談・広場は、相談したい人が来る場なので、相談そのものを見ることはできない。ただ、アバター空間自体は、県のメタバース空間を使っており、そこは誰でも入ることができる。様々なエリアがあるので見ていただければ。

委員：特に意見等はないが、来年度以降もこのような主催講座や研修等に、参加できるときに参加していきたい。

委員：月2回、こちらの和室を借りて、さいがい・つながりカフェの活動をしている。震災から14年経つと、活動場所を取るにも苦労しているという話を聞く。これからは、地元で孤立している人、能登の被災者などにも来てほしいと思う。先日のフェスティバルでも声をかけたが、なかなか一步を踏み出せないようだ。親の面倒を看ながらだと来るのも難しいようだ。

委員：ガールスカウトの活動とWith You さいたまの事業は親和性がある。ガールスカウトの指導者にはできるだけ講座に参加してほしいと思っているが、情報案内のタイミングが遅く、なかなか参加できず残念である。今度、With You さいたまで出前講座（男女共同参画基礎講座）とランチ会・交流会を合わせて実施する予定。まずはWith You さいたまを知ってほしいと思っている。あばた一相談の利用者は少ないかもしれないが、アバターだからこそ話せた方もいると思うので、今後も続けてほしい。まだまだ日本の社会は明治時代からの家制度を引きずっているところがあると思う。社会に影響力のある方への発信は続けていってほしい。